

公表

事業所における自己評価総括表(児発自己評価事業者1-1)

○事業所名	オープンカフェ		
○保護者評価実施期間	2026年1月10日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2026年1月10日		～ 2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い生活空間と、分けられた個室があり、学習や療育に適した環境設定がされている。また、パニック時や、集団行動が苦手な利用者にとっても落ち着ける環境があるため、様々な困難を抱える利用者にとって心地よい空間が提供できている。	個室は施錠せずに密室にならないようにしており、外から中の様子が見えるようにしている。	外の音が気になる利用者のために防音などの対策を今後していきたい。遊具を増やして、整理整頓まで含めて支援を行いたい。
2	自己研鑽のための資格取得、研修、勉強会をとおして、スキルアップをしている。保育士の国家試験などの対策などもしている。	月一回以上の学習会、研修を行っている。毎日のミーティングで利用者の状況などを話し合い適切に支援が行われているかPDCAを回している。	継続して、新しい職員に対しても行っていく。
3	困難を抱える利用者に対する支援の充実 不登校対策支援	不登校、家庭環境、などの様々な困難を抱える利用者に対して、登校支援、学校との協議などを通して再び生活に戻れるように個別支援を行っている。	定期的に不登校の利用者の登校支援を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会などの親の会を定期的に行っていない	保護者が困難を抱えているケースも多く、保護者会を行うことで関係が悪化する恐れがあるため、定期的な開催は行うことが躊躇する部分がある	年に一回程度は保護者が集まることができる会を主催する予定をたてる。東大阪国際交流フェスティバルで出店しているため、その時に保護者との交流を図る。
2			
3			